



# GLOBAL MAPPING NEWSLETTER

80

## BNETD/CCT の地球地図プロジェクトに関する貢献

プロジェクトコーディネータ：ムブラ・コウアディオ・セヴェリン博士、センター長  
 プロジェクトマネージャー：ンドウメ・クロード・ティエリー・アケ博士、  
 通商・マーケティング・プロジェクト管理サービス長  
 寄稿者：コウアメ・ロウコウ・ジャコブ・チャールズ博士、  
 サービス・地理空間情報技術管理長  
 コートジボアール、BNETD 地図・リモートセンシングセンター



ムブラ博士



ンドウメ博士



コウアメ博士

### 1. 組織の紹介

国立技術研究開発事務所 (BNETD) はコートジボアールの技術諮問機関です。BNETD は開発プロジェクトの実施や投資のフィードバックの最適化に資する9つの技術部門（インフラ・交通、建設、設備、農業、ICT、環境、経済調査、地図・リモートセンシング、都市計画及び地域開発）を含む15部門で構成されています。地図・リモートセンシングセンター (CCT) は国家地図作成の任にあたる部門です。CCT は、旧コートジボアール地理院 (IGCI) が DCGTx に統合された後、1992年にIGCIのすべての権利を継承し設立されました。なお、1996年に DCGTx は BNETD となっています。

### 2. CCT のプロジェクトへの貢献

BNETD/CCT は2007年に、データベース整備の技術担当者と活動調整のためのセンターの長が一体となって地球地図プロジェクトに参加しました。

2008年に、BNETD/CCT は ISCGM からプロジェクトの文書とコートジボアールの第0版 (VMAPO、GLCC) データを受領しました。2008年～2009年にかけて、CCT は地理データベース TOPO500© と BDGéo200© から地球地図コートジボアールデータベースを整備しました。BNETD/CCT では VMAPO ベクターデータをより正確な TOPO500© レイヤに置き換え、地球地図第1.3版仕様で定義された属性に分類しました。

土地被覆、土地利用と植生のラスターレイヤの作成では、BNETD/CCT では BDGéo200© の土地利用レイヤを GLCC で定義されたとおり再分類した後、取得したレイヤをラスター化しました。標高データに関しては BNETD/CCT は米国地質調査所の GTOPO 30 を維持しました。

2010年に、BNETD/CCT は ISCGM からエラーファイルや検証報告書とともにコートジボアール (CIV) の検証済みのデータを受領しました。BNETD/CCT では、ファイルや検証報告書に従って1回目の修正を行うことができました。一方で新しい仕様による分類が行われました。2011年に、ISCGM は BNETD/CCT にデータ検証ソフトとメタデータ編集ソフトを提供しました。BNETD/CCT では、検証に従い不具合とエラーの修正を行いました。

### 3. 今後の展望

CCTセンター長は2015年8月4日にニューヨークの国連で開催された第22回 ISCGM 会合に参加しました。

BNETD/CCT は、プロジェクトへの参加は環境問題の解決に役立つ良質の地理データを公開する支援となるため、その意義を見いだしました。

コートジボアールの自然環境はこの10年で非常に劣化しています。そのため地球地図データベースの更新が必要とされます。この更新作業は BNETD/CCT (BDGéo200© 及び Topo500©) の地理データベースの更新をとおして行うことができますでしょう。

### 4. 謝辞

BNETD/CCT は、プロジェクト実施の間の良好な関係について ISCGM 事務局に心から感謝します。

第 20 回国連アジア太平洋地域地図会議（UNRCC-AP）、  
国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会  
（UN-GGIM-AP）第 4 回総会

永山 透  
ISCGM 事務局長



第 20 回国連アジア太平洋地域地図会議（UNRCC-AP）は、2015 年 10 月 6 日～10 月 9 日に韓国の済州島（国際コンベンションセンター）において開催されました。

開会の挨拶とそれに続く事務手続きの後、本会議の議長として村上広史国土地理院参事官が、副議長に Choe Byung-Nam 韓国国土地理情報院長及び Khurelshagai AYURZANA モンゴル土地・測地・地図作成局長が選出され、書記に Li Pengde 中国国家測繪地理信息局副局长が選出されました。

組織構成上の事項については、技術委員会（TC）として、I:「測地基準座標系（Geodetic Reference Frame）」、II:「災害リスク管理（Disaster Risk Management）」、III:「地域空間データ基盤（Regional SDI）」及びIV:「地籍及び土地管理（Cadastre and Land Management）」の設置が採択され、委員会（TC）ごとにパラレルセッションが開催されました。セッションでは、今後3年間の取組について討議し、提言がとりまとめられました。

この提言に基づき、第 20 回 UNRCC-AP が国連経済社会理事会（ECOSOC）に報告を行う決議が採択されました。加えて、UNRCC-AP をはじめとする地理空間情報に関する全ての国連会議を地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会

（UNCE-GGIM）へ統合することを推奨する決議が採択されました。

本会議において採択された決議事項は、下記のとおりです。

1. 測地基準座標系
2. 災害リスク管理
3. 地域の空間データ基盤（SDI）
4. 地籍と土地管理
5. 地理空間情報分野における ECOSOC の付属機構の強化
6. 第 21 回国連アジア太平洋地域地図会議

第 20 回国連アジア太平洋地域地図会議に引き続き、UN-GGIM-AP 第 4 回総会が開催されました。





向こう3年間の理事の構成として会長に日本、村上広史参事官、副会長に韓国、Choe Byung-Nam 院長及びモンゴル、Ayurzana 局長、事務局長に中国、Li Pengde 副局长が選任されました。また、次期の作業部会の座長として、WG1 は豪州、WG2 は日本、WG3 は中国、WG4 は韓国が承認されました。

UN-GGIM-AP 第 5 回総会は来年 10 月にマレーシア（クアラルンプール）で開催される予定です。

## アイコンを用いた各国のデータポリシーの新たな表示

### ISCGM 事務局

各国の地球地図データは、基本的に「非商用利用において無償」で利用することが出来ますが、国の方針によって例外もあります。また、商用利用におけるデータポリシーは多様です。ISCGM は地球地図データの利用を促進するため、第20回（2013年）、第21回（2014年）会合においてデータポリシーの簡略化に関して議論してきました。その議論及び会合での決議に従い、ISCGM 事務局ではデータを公開している国のデータポリシーを再確認するとともに、わかりやすいデータポリシーの表記方法を検討してきました。まず各国のデータポリシーを数パターンに分類し、それらをアイコンを用いてわかりやすく表示することを考案しました。次に関係各国のデータポリシーとアイコンによる表記の整合を関係各国に確認し、2015年8月に新しい表示に変更しました。今回、新たに考案された各アイコンが表すデータポリシーは以下のとおりです。

	<b>Show the credit on your products.</b> 成果品にクレジットを表示する。
	<b>Send your contact information, particular dataset used and purpose of use.</b> あなたの連絡先および どのデータを用いたかとその使用目的を送付する。
	<b>Get permission from the authority. Any unauthorized use of the data for any commercial purposes is in violation of international copyright laws and is strictly forbidden.</b> データの使用について、関係当局から許可を得る必要がある。 許可を得ないデータの商用利用は国際著作権法を侵害し厳重に禁止される。
	<b>The data is not usable.</b> データの利用は不可。

<備考>

- ・ 各国の利用条件は「商用利用」または「非商用利用」に分けられ、各データポリシーは上記のアイコンを用いて表示される。
- ・ これらのアイコンで表現できない条件は文字で追記される。
- ・ クリエイティブコモンズ等による既存のアイコンが用いられた場合には、それを用いて表示する。
- ・ 自国からデータ公開している場合も、当該国ウェブサイトへのリンクと共にアイコンによるデータポリシーを表示する。

この新しい表示方法については第22回 ISCGM 会合で報告された後、現在地球地図ホームページのデータダウンロードページにおいて採用されています。

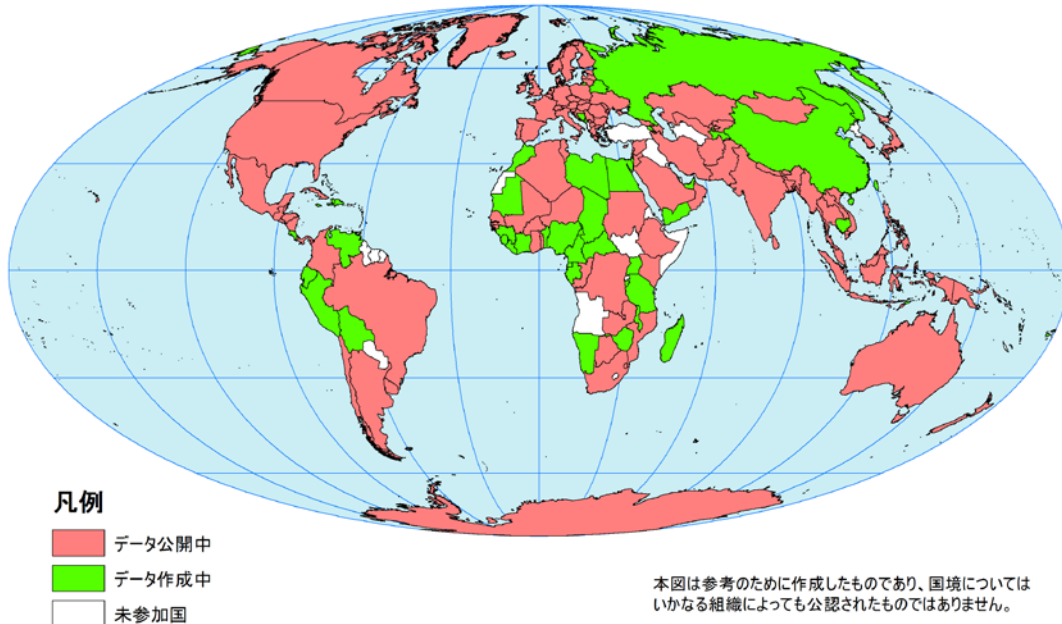
地球地図データダウンロードページ：<https://www.iscgm.org/gmd/>

各国の地理空間情報当局の地球地図データ公開を担当される方におかれましては、上記のウェブサイトアクセスし、確認していただくようお願いします。データポリシーの内容に齟齬や変更があった場合は、ISCGM 事務局までお知らせください。

## 事務局から

## 地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

現在 167 カ国 / 16 地域が地球地図プロジェクトに参加し、111 カ国 / 8 地域（うち Ver.2 を公開しているのは 75 カ国 / 4 地域）の地球地図が公開されています。



## メール配信等のお知らせ

メール配信・停止ご希望の方は、氏名・住所・メールアドレスを sec@iscgm.org までお知らせください。

## 地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

## 2016 年

- ・ 4 月 20 日～ 22 日、エチオピア、アジスアベバ  
第 4 回国連地球規模の地理空間情報管理に関する (UN-GGIM) ハイレベルフォーラム
- ・ 5 月 2 日～ 6 日、ニュージーランド、クライストチャーチ  
国際測量者連盟ワーキングウィーク 2016
- ・ 8 月、米国、ニューヨーク  
第 23 回地球地図国際運営委員会 (ISCGM) 会合
- ・ 8 月、米国、ニューヨーク  
第 6 回地球規模の地理空間情報管理に関する  
国連専門家委員会 (UNCE-GGIM)
- ・ 10 月、マレーシア  
第 5 回国連地球規模の地理空間情報に関する  
アジア太平洋地域委員会 (UN-GGIM-AP) 総会



NEWSLETTER は地球地図情報誌として、世界中の地理空間情報当局や地球地図データ利用者など 1,200 名以上もの多数の方々に配布されています。記事の投稿、配布の希望、関連する情報などお待ちしております。本誌の記事は、原文をそのまま掲載してあります。

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局

連絡先：〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内

Tel: 029-864-6910 Fax: 029-864-8087

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: sec@iscgm.org